

## 7 名詞1

7-4

3 次の各文中から名詞を探し、それぞれの種類に分けて、書き入れなさい。(同じものは一回でよい)

(1) 午後の太陽が、まともにかっと照ってきて、メロスは何度となくめまいを感じ、これではならぬ、と気を取り直しては、よろよろ二、三歩歩いて、ついに、がくりとひざを折った。立ち上がることができないのだ。

[普通名詞] []

[固有名詞] []

[数詞] []

[形式名詞] []

(2) 四、五日たった朝、ばくろうがアオと子馬を連れていく日である。わたしは、まだ薄暗い馬小屋の前にそっと立った。アオには人間の無慈悲な取り決めなどはわかるはずもない。あの人なつかしい目をわたしに向けると、長い鼻づらをわたしのほおにすり寄せてきた。

[普通名詞] []

[固有名詞] []

[数詞] []

[形式名詞] []

(3) わたしが君に初めて会ったときは、わたしはまだ札幌に住んでいた。私の借りた家は、町はずれを流れる豊平川という川の右岸にあった。その家は、堤の下の一町歩もある大きなりんご園の中に建ててあった。絵を書くための家であった。

[普通名詞] []

[固有名詞] []

[数詞] []

[形式名詞] []